

よ



相変わらずポチポチの参加ですが、細く長く
よろしくお願いします。

コロナ禍の渦中での例会では、朝の受け付けにてオデコでピッと検温担当。米田さんがいて下さると、みんな安心して元気とやる気が湧いてきます。

もりメイト育成講座は 19 期生。応募の動機は『父からの影響と、猫の額ほどの山があるので、放置すると迷惑になってはいけないと思い、山の事を知ろうと思いました。』

圭子さんのお父さまは、以前、森林インストラクターとして活躍され、自然や林業関連に携わるプロフェッショナルの西垣義憲さん。残念ながら他界されましたが、山本理事長からも、『かつてお父さまの講義を受けて学び、ずい分お世話になりました』と聞いた。

写真は、今年 2 月の恵下山例会の時撮ったもの。この日はちょうどお父さまの^{がっき}月忌に当たられていたようですが、『こちらで山の作業をする方が、父の供養になります』と、形見のノコを手に、にこやかに話して下さった。

森の中でのエピソード。 『初めて木を切り倒した時、一瞬で汗が吹き出す達成感と、命をいただく事に畏怖した感覚を忘れてはいけないなと思っています。』

活動に関して感じた事は？ 『女性、男性、年齢を超えて、お互いが足りないところを気付き合い、補い合い、話し合い、助け合う。これからも、そんな支え合う“もりメイトチーム”であればいいかな。』

趣味などお聞かせください。 『暇な時は サブスクで映画を見たり、音楽を聴いたり、インテリアをあちこちじったり。ウォーキングを週に 2~3 回 5km 程度。あっ、最近ひっそり 1 人ヨガも始めました。』

チャレンジャーとして？ 『クラフトをやりたいと思うものの、今のところ片思いです。』